

建替計画の方向性

計画概要

- 建設住棟を高層化，集約化することで，ゆとりある住環境を形成し，周辺環境へも配慮した配置計画とする。
- 既存の自治会形成をできるだけ継承し，地域コミュニティを継続することで互いに見守り支えあう環境形成を図る。
- 多様な居住者が住み続けられるように，ユニバーサルデザインを導入する。
- 世帯構成の状況などに対応した複数の住戸タイプの供給を行うことにより，地域コミュニティの活性化を図る。
- 建替事業に伴う仮移転をできるだけ少なくし，入居者の引っ越しなどの負担を軽減する建設計画とする。
- 速やかな事業進捗を図るため，下山門校区と西陵校区の街区でそれぞれ並行して建替事業を実施する。
- 将来活用地を創出し，高齢化の進行などの地域の課題を踏まえた活用を図る。

事業スケジュール

全体事業期間：15年程度

- 下山門校区第1期事業として，平成26年度に7棟の解体・新築工事に着手する予定。
- 西陵校区第1期事業として，平成26年度に44棟を解体し，平成27年度に新築工事に着手する予定。

その後は仮移転先や国費等の予算確保に努めながら，順次建替事業に着手する予定。

建設住棟／戸数	11棟 / 約770戸
構造 / 階数	鉄筋コンクリート造 / 8～14階
将来活用地	A：約3,700㎡ B：約2,600㎡ C：約4,000㎡ D：約600㎡ E：約1,500㎡

計画配置図（イメージ）

